



鶴まちづくりだより

発行 鶴まちづくり協議会(鶴公民館内)

「平成26年度 鶴まちづくり協議会総会」開催

平成26年4月6日（日）、山中松阪市長はじめ多くの来賓の方々のご臨席の下で「鶴まちづくり協議会総会」が開催されました。

「鶴まちづくり協議会」は、「地域で出来る事は、地域で」「安心・安全・助け合いの町・住みよい町」を目指し、「自助・共助」のボランティア精神で、平成25年度事業推進を住民の皆さんをはじめ、6部会・事務局・行政の皆さんの大変なご支援・ご協力により実施し順調に推移しました。

1 地域伝統行事

（七夕祭り、虫送り、ふれあいの集い）

2 「鶴防災の日」9月29日、10月20日

3 鶴キッズクラブ開所

4 鶴寿会の再結成

等、大きな成果がありました。

今年は、小学校入学児童13名であり、少子高齢化が進む地域の解消に向け、子供から高齢者までの3世代交流を中心とした事業

1 地域伝統行事・七夕祭り・・・婚活

2 1名の犠牲者を出さないための避難訓練と対策・・・個々の避難

3 子供・高齢者の健康と維持・・・体力作り・認知症予防

等、取り組みを進めます。

特に、地域への永住者を増やすことが大切であり、「住んで良かった、楽しい町」に向けた「地域計画策定」を、自治会長さんをはじめ地域住民の皆さんと取り組んで行きたいと思いますのでご意見ご要望をお寄せ頂きますよう宜しくお願ひします。

最後に、まちづくりは、住民皆さんの「自助・共助」のボランティア精神がなければ推進出来ません。地域の皆さんのご協力を願いしまして、開会の挨拶とさせて頂きます。

鶴まちづくり 高瀬会長挨拶



鶴まちづくり協議会会長

山中松阪市長の挨拶、メッセージとして「5年先、10年先の将来に備える活動に、地域は、自分達で意識を持って取り組んで頂きたい」「行政も地域も共に汗を流して役割と責任を果たして行きましょう～」との応援と支援のお言葉がありました。

「ふるさと納税(ふるさと支援寄付金)」講演

26年度総会の後、松阪市経営企画部 地域づくり応援室 久世 徹様より地域の活動に必要な資金調達について「ふるさと納税」制度の仕組みと活用についての講演をして頂きました。

ふるさと納税による特典

- ① ふるさとの活動が活性化される
- ② 納税者は、税制上の地方税の控除の特典を受ける
- ③ 納税者は、松阪市より松阪肉及び特産品（Maid in Matsusaka）のプレゼントが受けられる等の説明があり、すでに取り組みを実施して、成果を上げている事例などが紹介されました。

詳細は、割愛させて頂きますが、結びの言葉として、地域計画「かささぎ版」の活動資金確保の手段として、この制度への取り組みの勧めがありました。



平成26年度(2014年)事業計

総務部会

- ・活動内容紹介、情報の地区内外への発信
- ・設備更新・改新
(掲示板、街灯の設置)
- ・広報活動



防災防犯部会

- ・避難と防災訓練
- ・防犯パトロール
- ・高齢者の防災対策講演



環境保全部会

- ・地域全体の環境パトロール
- ・クリーン作戦
(ごみゼロ清掃活動)
- ・花と緑化活動の推進



健康福祉部会

- ・高齢者(75歳以上)健康の集い
- ・夏休みラジオ体操
- ・スポーツ大会
(バーチャル・グラウンドゴルフ・小運動会)
- ・老人クラブの加入促進



青少年育成部会

- ・子供と大人の伝承文化の推進
- ・親子で物作り(木工教室・凧作り)
- ・グラウンドゴルフ子供大会
- ・学童保育(かささぎキッズクラブ)への支援と協力



歴史文化部会

- ・地域伝統文化の伝承
(虫送り・七夕祭り)
- ・歴史探訪と健康の集い
- ・収穫祭

